

子どもの弱視対策について



中川 雅之 議員

質問…3歳児健康検査における視力検査の現状について

答弁…視力検査は2種類の方法（「保護者アンケート」質問項目と自由意見により子どもの見え方に関する心配な状況を確認、「絵カード」を使い、事前に家庭で検査を実施していただき、結果を確認）で実施し、また、3歳児検診で視力の異常を発見し早期治療をする事の重要性を伝

えるとともに、家庭で適切に検査が出来なかつた子どもについては、検診来所時に職員が検査を実施しています。3歳児検診で目の異常が疑われる子どもについては、紹介状をお渡しして、眼科受診を勧めており、精密検査受診状況と結果を把握し、未受診の方については、受診勧告を行い、精密検査受診率100%を目指しています。

質問…厚生労働省から4月「3歳児健康検査における視力検査の実施について」協力依頼が出されていますが、改善した点及び今後の取り組みについて。

答弁…これまで以上に3歳児検診における眼科検査の重要性を保護者に通知し、さらに、精密検査対象者の医療機関受診の徹底と、引き続き受診率を高める取り組みを実施していきます。

一般質問



本澤 節子 議員

バイオマス産業都市構想について

質問…広域クリーンセンター大田原のごみ発電について、1、

今なぜごみ発電なのか。2、地元住民の了解は。3、44億円の根拠を明らかにしてください。
答弁…今なぜごみ発電なのかについては、広域クリーンセンター大田原を管理運営する那須地区広域行政事務組合によると、平成31年度から平成33年度の3カ年で焼却炉やごみクレーンな

どの基幹的設備の改良工事を行い、施設の延命化を図る際に、ごみの焼却により発生する熱を有効に利用するため発電設備を設置し、場内で使用することで経費の削減を図り、さらに地球温暖化防止に寄与するためとのことであります。また、地元住民の了解については、平成25年度より地元4自治会長に説明をしており、今後必要に応じて

情報提供していくとのこと。44億円の根拠については、発電設備を含めた基幹的改良事業は、同組合が策定した計画に総事業費約44億円として計画されており。計画に当たり、広域クリーンセンター大田原と同程度の規模を有し、これらの事業を既に実施している秩父クレーンセンターを参考としているとのことであります。